

▼デジタル教材を使用した授業のようす。画面に直接手書きで入力すると、漢字・計算の答え合わせや筆順のチェックをしてくれます。



山陽小野田市では、昨年から取り組んでいる「生活改善・学力向上プロジェクト」の一環として、現在市内の小学校5校において、デジタル教材を使用した学習を行っています。この度、新たに2校にデジタル機器を学習教材として導入し、先生方の指導のもと、児童が漢字の書き取りや百ます計算に取り組んでいます。このうちの1校である出合小学校での授業のようすと新たな学習がスタートした教室の声をお伝えします。

【問い合わせ先】教育政策室 (☎ 82-1208)

生活改善・学力向上 プロジェクト

～デジタル教材を使った
漢字・計算の徹底反復を行っています～

「習熟学習への効果が期待できます」



出合小学校 教務主任
下瀬 昌巳先生

「デジタル教材を使っでの学習は漢字の習熟や計算の反復学習に効果が期待できます。また身近な機器を使っでの学習は児童にとっても学習への意欲づけが自然と図られるのではないのでしょうか。」

▲先生の指導のもと取り組みます。

児童の声

「漢字を覚えるのが楽しくなりました」
「漢字の書き順が覚えやすくなりました」
「頭がよくなりそうです」

夢 いっぱい!

DIVE into DREAM !!
～夢に飛び込め～



本市出身の漫画家

いけの まさひろ
池野 雅博 さん

週刊少年サンデー誌上で
「DIVE!!」を連載中

週刊少年漫画雑誌の草分け的存在ともいえる「少年サンデー」誌上で、本市出身の漫画家、池野雅博さんが週刊連載に初挑戦しています。作品名は「DIVE!!」～高さ10メートルの飛び込み台からプールに飛び込むまでの、わずか1.4秒間に技の優劣を競う、「飛び込み」という競技をめぐる青春ドラマを描いたもので、原作は直木賞作家の森絵都さんが2000年から2002年にかけて発表し、小学館児童出版文化賞を受賞した名作です。



▲連載第1話の表紙(サンデーより)
(© 株式会社 小学館)

池野さんが漫画家を志したのは中学生の頃。昔から絵を描くことが好きで、高校では美術部に所属し、基本的な画力が磨かれました。卒業後、上京し漫画専門学校に通うも、より実践的な場での研鑽(けんさん)を求めて1年で中退。プロの漫画家のもと、アシスタントを務める日々が始まります。体力の限界まで描き、数時間の睡眠が繰り返される毎日。当時を振り返り、「泊まり込みが続いたり、時間的にもとにかく大変でした。」と話す池野さんですが、一番辛かった時期は意外にもプロとしての第一歩を踏み出した後だったそうです。出版社主催の賞レースでの入賞を機に飛び込んだプロの世界は、自分の好きなものだけを描く事が許されたアマチュア時代とは違いあらゆる面において厳しく、「週刊少年誌への連載は諦めようか」と悩んだことも。しかし、漫画に対する情熱は消えることなく、たゆまぬ努力と飽くなき向上心は、この度の週刊連載という形で実を結びました。「まだまだ連載のペースがつかめず、漫画漬けの毎日です。そろそろ髪も切りに行きたいんですけどね。」と話す声は、大変さの中にも確かな充実感を感じさせてくれるものでした。故郷を遠く離れた空の下、池野さんの机の上では今日も新しい「夢」が描かれていきます。